

長崎県の「いま」を伝える広報誌

つたえる 県 ながさき

TSU TA E RU KEN · N A G A S A K I

Anniversary
開館15周年
IKIKOKU MUSEUM
in Iki Island
IKI CITY NAGASAKI

2025
令和7年
9
vol.113

P2 地域特集 **kon-ne 壱岐**

P4 県政特集① **長崎県の水産業の未来をつくる**
～総合水産試験場の取り組み～

P6 県政特集② **デジタル技術で暮らしを便利に**



今月の読者プレゼントはコチラ!

読者プレゼント

鬼尻コップ&ステッカー(3枚)セット

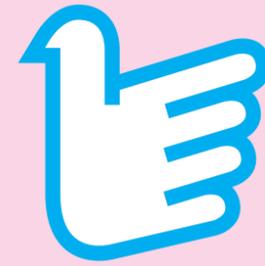
詳しくはP15をご覧ください。

30名様

県のウェブサイトにも音訳版を掲載しています



文化をみんなに



ながさきピース文化祭2025

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

9月14日(日)→11月30日(日)

東アジアユースオーケストラ演奏会

とき 10月18日(土) 14時～
ところ ハマユリックスホール(雲仙市南串山町)



イベントでのコンサート

日本、中国、韓国の若手演奏者約40名が雲仙小浜温泉での音楽合宿を経てシンフォニーを奏でます。指揮には東京藝術大学の前学長でヴァイオリニストの澤和樹氏をお迎えするほか、雲仙市内の中学生も出演します。

演奏会前日の17日(金)午後には、澤和樹氏による室内楽セミナーが行われます。セミナーの様子はどなたでも無料でご覧いただけます!

文化芸術による地域づくりフォーラム & 文化体験ツアー

とき 11月22日(土)～24日(月・祝)
ところ 福江文化会館(五島市池田町)ほか



漁網を使った「そらあみ」

11月22日(土)開催のフォーラムでは、東京藝術大学学長・日比野克彦氏による講演や「アートで地域を元気に!」をテーマとしたパネルディスカッションを行います。

23日(日)から実施する文化体験ツアーでは、五島市の「島の民俗芸能祭」、奈留島の「そらあみ」、新上五島町の「教会コンサート」などを楽しめます!

ながさきピース文化祭2025 **長崎県警察から交通規制に関するお知らせ**

文化祭の開会式会場周辺や一部の関連行事会場周辺では、交通規制が実施される場合があります。交通混雑が予想されます。県民の皆さまにおかれましては、ゆとりある行動と公共交通機関の利用、交通規制エリアの迂回にご協力をお願いいたします。

最新の規制情報はこちら→



問合せ 県警察本部警衛対策課 ☎ 095-820-0110 長崎県警察 交通規制

9月から本県で開催する「ながさきピース文化祭2025」のイベント情報をご紹介します。

問合せ 長崎県実行委員会事務局(県のながさきピース文化祭課内) ☎ 095-895-2765

つたえる 県
ながさき

vol.113 2025年9月号
(発行)長崎県広報課
〒850-8570(住所不詳)
☎095-824-1111
(デザイン)株式会社 長崎新聞社



祖父母の思い継ぎ 鬼凧を広めたい



壱岐市芦辺町
鬼凧工房 平尾
さいとう
齊藤あゆみさん

鬼凧工房 平尾

壱岐市立一支国博物館

猿岩

農事組合法人
平人営農組合(P8)

壱岐空港

壱岐オリーブ園

中村たんぱく

ないと思った」と語ります。

その後、福岡と壱岐を行き来し、1年近くたこ作りを勉強しました。そんな齊藤さんをうれしそうに見守っていた明丈さんは2019年に他界。齊藤さんは同じ年に継承の決意を固めてUターンし、フクヨさんと共同でたこを制作しています。

竹を加工した骨組みに和紙を張り、墨で描かれるたこの出来具合は「百合若大臣の目で決まる」と明丈さんから言われてきたため、墨入れの最後に慎重に目を描きます。絵付けは赤、橙、黄、緑の4色の食紅を使用。これも祖父母が決めた配色を引き継いでいます。かつて明丈さんが墨入れした鬼凧には力強さが漂い「おじいちゃんに近づきたい」との思いを胸

に、制作に励んでいます。たこは高さ30センチから2.5メートルまでの8種類。島内外からお祝いごとなどで注文を受けているほか、最近ではSNSでの発信やグッズ販売などを通して海外の方にも広まってきているそうです。

2024年10月に長女を授かり、子育てとたこ作りを両立させる日々。以前のように工房に寝泊まりはできませんが「子どもの昼寝時間などをたこ作りに充てています」とほほ笑みます。

9月14日に開幕する「ながさきピース文化祭2025」に参加予定です。たこの絵付け体験などのイベントを計画しているそうです。「島外の人にも来てもらい、鬼凧をさらに広めたい」と意気込んでいます。

表紙のコト

壱岐市立一支国博物館



一支国博物館の皆さんと、壱岐市のキャラクター人面石くん

今年3月に開館15周年を迎えた一支国博物館は、中国の史書「魏志倭人伝」に記された「一支国」の王都とされる国指定特別史跡「原の辻遺跡」の出土品をはじめ弥生時代や古墳時代の歴史資料などを展示しています。原の辻の様子を再現した大規模ジオラマ模型や、広大な平野と水平線を見渡せる展望室なども備えています。「壱岐の歴史を集約した施設。展示室には土器を持ち上げて重さを体験するコーナーもあり、子どもたちが歴史を直感で学べます。ぜひご来館ください(須藤館長)」

ところ 壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1

営業 8時45分～17時30分

※月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～31日は休館

☎ 0920-45-2731



ボリューム満点の壱州豆腐



中村たんぱくの壱州豆腐。深夜から早朝に作られています。

中村たんぱく

1等級の国産大豆を使い、ミネラル豊富な海水にがりで作る「壱州豆腐」は大きく、1丁が800gから900gにおよび、大豆本来の味が濃く、甘みもあります。硬さも特徴ですが、みそ汁やすき焼きに入れたりレンジで温めれば、ふわふわになるそうです。

ところ 壱岐市石田町本村触118-7

☎ 0920-44-5310

※販売店舗は壱岐市内のスーパーなど。公式ウェブサイトでも販売



社長
中村勝さん



もちもち新食感の Pasta 麵



「オリーブ抹茶のパスタ」を使ったキャベツとアンチョビのパスタ

壱岐オリーブ園

オリーブの葉をパウダー化し、丁寧に練り込んだ「オリーブ抹茶のパスタ」。もちもちした食感が特徴で、葉の香りが食欲をそそります。「パスタの新しい領域を感じさせてくれる」などの評価を受け、今年2月、ジャパンフードセレクションの第84回食品・飲料部門グランプリに輝きました。

ところ 壱岐市郷ノ浦町片原触1190

営業 9時～17時

※8月13日～16日、12月31日～1月4日を除く
※「オリーブ抹茶のパスタ」は公式ウェブサイトなどで販売

☎ 0920-47-6737



社長
立山明德さん



地域のニューストピックを紹介

「Jブルークレジット」認証

今年3月、壱岐市磯焼け対策協議会が取り組んできた海中の海藻類が育たなくなる磯焼けの対策で、回復した藻場が温室効果ガスを吸収したとして、国認可のジャパンブルーエコノミー技術研究組合から「Jブルークレジット」の認証を受けました。2023年度に続いての認証となり、今後もさらなる対策の拡充に取り組んでいきます。



長崎県の伝統的工芸品「壱岐鬼凧」。祖父母が半世紀以上にわたり積み重ねてきた技術を受け継ぎ、たこ作りにも励む女性がいいます。

鬼凧は若武者「百合若大臣」と鬼の首領「悪毒王」の格闘のさまを勇壮に描いたもので、家内安全や無病息災の魔よけとして民家や店舗に飾られています。市内のたこ職人は減り、現在は齊藤あゆみさんと祖母の平尾フクヨさんの2人だけになりました。

中学生まで放課後は祖父母の家や工房で過ごしていた齊藤さん。傍らには当たり前のようになたこがありました。高校卒業後、島を離れ福岡市へ。専門学校に進み、アルバイトを経て、民間企業に就職しました。たこ作りに関わるようになったのは2018年に祖父の明丈さんが体調を崩したことがきっかけでした。休日に様子を手に島に戻るうち、たこ作りを手伝い始め、「何十年も2人で作っていたんだな」と時間の重みを感じ、「伝統を途絶えさせたくない」と思うようになります。体調が悪化し思いどおりに作業ができなくなった祖父がこぼした「たこをしまいにしよう」という言葉に悲しみが込み上げ、「本当はおじいちゃんも続けたいはず。私がやるしか

壱岐神楽



700年の歴史をもつとされ、国指定重要無形文化財に指定されています。壱岐の神社に奉職する神職にしか舞うことを許されず、口頭でのみ継承。8月と12月に奏される壱岐神楽では、12人以上が集まり、7～8時間をかけて奉納されます。

猿岩



黒崎半島の先端にある高さ45mの奇岩。「そっぽを向いたサル」にそっくりで、観光客にも人気の撮影スポットです。岩越しに見える美しい夕日も絶景。

大学との連携

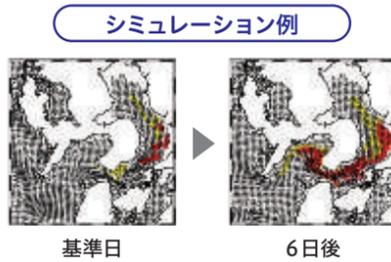
総合水産試験場では、漁業者が海の状況を把握し、効率的な操業や赤潮対策などを実施できるように、海の状態を予測するためのさまざまな取り組みを行っています。

赤潮の移動を予測

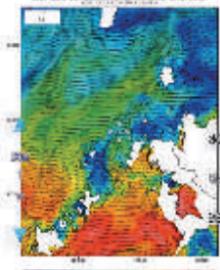
「赤潮」とは、植物プランクトンが大量発生し、海水の色が変わる現象で、近年、県内各地で赤潮による養殖魚への死[※]など大きな被害が発生しています。

これまで赤潮の原因となるプランクトンは、いつ、どこへ、どのように移動・拡散するのが分かりませんでした。そこで、長崎大学との共同研究により、約7日先までの有害プランクトンの動きを予測する「赤潮移流予測モデル」の開発に取り組んでいます。この予測モデルはまだ試行段階ではありますが、養殖業者が赤潮対策を行うための情報として活用されています。

※へい死：環境の変化や病気などにより突然死ぬこと



色の違いは、植物プランクトンの濃度の違いを表し、赤い方が赤潮発生の警戒レベルが高い



海の天気予報

海の状況を予測

漁業者が、魚が取れる場所を把握して効率的に操業ができるように、漁業者・大学・民間企業と連携して、7日先までの海の状況(潮流、水温、塩分)を予測できる「海の天気予報」を開発したことで、船の燃料や漁具などの消費を抑えることができ、漁業者の経営安定につながっています。また、さらなる精度向上に向け、現在も改善に取り組んでいます。

民間との連携

県内の水産加工業者が行う新製品の開発や既存品の改良を支援するため、小型レトルト機や真空冷却クーラーなどの機器を備えたオープンラボで、水産加工業者に対して技術的な助言などを行っています。

近年では、手軽にすぐ食べられるレトルト商品などの製品開発の相談が増加し、オープンラボの取り組みが加工業者の商品化につながっているほか、魚を加工する上で重要な要素であるたんぱく質の特性などを分析し、製品開発に応用するなど水産加工品の付加価値向上を技術面から支えています。

オープンラボで開発された商品例



鯛のマリネージュ



燻しりこサクッ!



諫早湾芝海老カレー



商品開発の様子

第20回ながさき水産科学フェアを開催

海にまつわる科学に親しんでもらうため、国や大学と共同で、海の生き物のタッチプールや研究者によるトークイベントなどを開催します。

この機会に、総合水産試験場の活動に触れてみませんか？

とき 11月2日(日)

※鮮魚や水産加工品をお得に購入できる「さかな祭り」も長崎魚市場(長崎市京泊)で同時開催します(会場間シャトルバスも運行)

ところ 長崎県総合水産試験場
(長崎市多良町)

※詳しくは、今後ウェブサイトに掲載します



海の生き物のタッチプール

県政 特集①

長崎県の水産業の未来をつくる ～総合水産試験場の取り組み～

県では、基幹産業の一つである水産業の発展を技術的な側面から支援するため、総合水産試験場でさまざまな調査や試験研究に取り組んでいます。



総合水産試験場の取り組み

総合水産試験場では、水産資源の持続的な利用や養殖業の振興、漁場環境の保全、水産加工業の育成・強化など、現場のニーズに応じたさまざまな技術開発に取り組んでいます。研究成果は、ウェブサイトに掲載しているほか、現地指導や研修会を通して、現場への普及と確実な定着を目指しています。



ウェブサイト

資源を増やし、効率的な操業を実現する

漁具・漁法の開発・改良や水産資源の維持増大を図るための基礎調査、種苗放流手法の開発などを行っています。



資源増加と養殖を支える種苗づくり

放流や養殖に用いる魚や貝、海藻などの種苗生産技術を開発するほか、温暖化に対応した魚種・品種の研究を行っています。



安定した漁場環境と養殖技術をつくる

近年、大きな被害をもたらしている赤潮の発生原因と被害を軽減するための対策の研究や収益性の高い養殖技術の開発を行っています。



水産加工業の発展を支える

多様化するニーズに対応した水産加工・品質保持技術の開発や水産加工業者が行う製品の開発・改良を技術的に支援しています。



調査・研究の主な成果 ～全雄トラフグの開発～

全国第1位の生産量を誇る養殖トラフグのさらなる競争力向上のため、高級食材である白子を持つ雄のトラフグだけを「代理親魚技法[※]」により効率的に生産する技術を平成27年度に世界で初めて開発し、平成30年度から県内養殖業者と連携した養殖試験を開始しました。これまで約51万尾の「全雄トラフグ」を市場に出荷しており、昨年度出荷された全雄トラフグは、通常の養殖トラフグよりも約1割高い価格で取引され、養殖業者の所得向上に貢献しています。

※生殖細胞を別種・別個体の魚に移植して卵や精子を生産する技法



養殖トラフグと白子

県内でもさまざまな技術が活用されています

県ではさまざまな分野でデジタル技術の活用を進めています。

ドローンの活用

ドローンワールドプロジェクト

県ではドローン活用先進地を目指し、さまざまな分野での活用を推進しています。

飛行に関する資格取得へのサポートや、県立高校でドローンの授業を取り入れるなど人材育成にも取り組んでいます。

農業

ドローンを使って農業を散布することで、身体的負担や作業時間を削減できます。



農業を散布する様子

建設業

物や地形を立体的に表現するデータを空中から計測し、精密な設計図などを効率的に作成することができます。



空中から計測したデータ

新技術実装連携“絆”特区

住宅地などの生活に身近な場所でドローンを活用していくため、昨年6月に国家戦略特区である「新技術実装連携“絆”特区」の指定を受け、ドローンを活用する際のハードルとなる規制の緩和に向けた実証実験に取り組んでいます。

今年2月には、九州で初めて「レベル4飛行※」を五島市で行い、処方薬を患者の自宅の軒先まで届けました。実証実験を重ね、新しい技術の活用を推進することで、地域課題を解決し、より便利な暮らしの実現を目指します。

※レベル4飛行…住宅地などの人が生活するエリア上空で機体を目視せずに行う飛行



薬を載せたドローン



薬を受け取る様子

オープンデータの活用

行政のデータを自由に使えるよう公開することで地域の課題解決や活性化につながるオープンデータの活用を推進しています。

県では市町と連携しながら、データの利活用促進のため、データ連携基盤「つながる長崎」を開発しました。公開されたデータを民間企業が活用することで、新たな防災サービスが開始されるなどオープンデータの活用が進んでいます。



(活用例) 観光・防災情報などを地図上で表示



詳しくはこちら

メタバースの活用

メタバースを活用することで、時間や距離のハードルを越えて、いつでも、どこでも気軽に交流することが可能になります。

県内では、生徒の視野を広げるために、離島の複数の高校と県内外の複数の事業者がメタバース空間で交流を行うなど、メタバースの活用に取り組んでいます。

今後もこのような技術をさまざまな分野で活用することで地域の垣根を超えた交流を推進していきます。



交流会の様子

現実の会場で人の動きが見えるように、メタバース空間でも他の人の動きが分かります。

離島や多くの半島がある長崎県では、さまざまな地域で暮らす皆さまが、地理的な不便さを感じることなく、豊かで質の高い生活を送るために、最先端のデジタル技術を活用していくことが必要だと考えています。県は、関係者と連携しながら、他地域に先駆けてデジタル技術の導入にチャレンジできる環境の整備を力強く推進していきます。

長崎県知事
大石 賢吾



問合せ 県のデジタル戦略課 ☎ 095-895-2075 長崎県 デジタル戦略課

県政 特集②

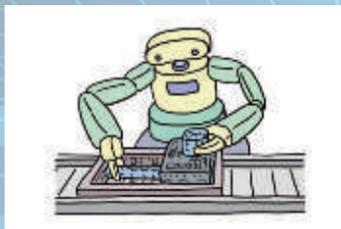
デジタル技術で暮らしを便利に

デジタル技術は日々進歩しており、私たちの生活に大きな可能性をもたらしています。人口減少による人手不足や地理的条件の厳しさなどの課題を抱える長崎県でも、デジタル技術の活用が進んでいます。

デジタルの力で便利になる暮らし

デジタル技術を活用することで、地理的条件による制約の克服や事業・事務の効率化、コスト削減などが図られ、暮らしがより便利で豊かになります。

ロボットによる負担軽減



身体的負担や危険が伴う作業を人の代わりに行ったり、補助を行うロボットが活躍しています。介護業界ではロボットを活用した介護職員の負担軽減が進められています。

データ活用で混雑を予測



センサーやデータを活用した分析から、施設の混雑状況を予測し、離れている場所からでも状況が把握できるサービスなども提供されています。

新たな配送手段の実現



ドローンを活用して、自宅の近くまで荷物を届ける取り組みが一部地域でスタートしています。

オンライン手続きの普及



例えば、マイナンバーカードを使うことで、住民票の写しなど各種証明書をコンビニエンスストアで取得できる※1など、デジタル技術の活用により、さまざまな手続きがオンラインで可能となっています。

メタバースを活用した新たな交流



メタバースなどの仮想空間技術により、遠く離れた人と同じ空間にいるような体験ができ、さまざまな分野で活用の検討が進められています。

AIが身の回りをサポート



人間の代わりにAI※2が食材管理やレシピ提案を行う冷蔵庫などのスマート家電が登場し、日常生活の中でもAI技術の活用が進んでいます。

※1 一部自治体を除く ※2 人工知能(Artificial Intelligence)の略称

すすめるけん

県がすすめている取り組みを紹介します!

教員の仕事の魅力

教員の仕事は子どもの成長を間近で見届けられ、自分自身も子どもと一緒に成長できる魅力ある仕事です。県では、「子どもを大切にする長崎県」を実現するため、学校における「働き方改革」の推進や教員の魅力発信などに取り組んでいます。

教員を目指す方へ 先生からのメッセージ

私は教員になって24年が経ちますが、子どもたちが日々成長していく姿を間近で見ることができるのが教員の魅力だと思います。これまで出会った同僚の先生や子どもたち、保護者、地域の方々からたくさん支えてもらいながら自分自身の成長も感じています。特に6年間過ごした上五島では、家族ぐるみの付き合いをさせてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。

多忙と言われる教員ですが、私は仕事と子育てを両立させるために、ICTを上手く活用しています。例えば、外部の学習コンテンツを活用し、課題の準備やチェックを短時間で行うことで、業務負担の軽減を心がけています。また、フレックスタイム制度を活用して早く出勤し、早く帰宅することで、家族と過ごす時間が増え、リフレッシュする時間を確保しています。このような柔軟な働き方により、公私ともに充実した教員生活を送ることができています。教員を目指す皆さん、一緒に働く日を楽しみにしています。



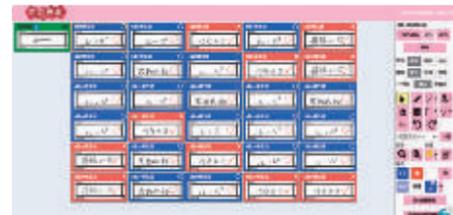
長崎県立松浦高等学校
柿木 洋介先生

教員の職場環境は変化しています

県では、教員の働き方を見直して業務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を確保することで、仕事にやりがいを感じてもらうため、さまざまな取り組みを行っています。

<取り組み事例>

- 県立中学校・県立高校へデジタル採点システムを導入
- 年間3,000件以上の文書処理に要する時間を削減するため、学校へ送付される文書を減らす取り組みを実施
- ICTを活用した教育活動を支援する人員を配置



デジタル採点システムを活用した採点の様子

教員に関する情報を発信しています



ウェブサイトに教員採用試験の情報や学校現場で働く先生に密着した動画などを掲載しています。ぜひご覧ください。



ウェブサイト

学校スタッフマッチングシステム

県内の学校で働きたい方や学校を応援したい方を対象に、採用情報などを配信しています。教員免許をお持ちの方やボランティアとして教育現場に協力したい方はぜひご登録ください。



登録はこちら

つたエールけん

県内で頑張っている企業や人にエール(応援)を送ります!

農事組合法人
ひろと
平人営農組合(壱岐市)

代表理事
つじ かわ ひでき
辻川 秀樹さん



スマート農業で作業を省力化 高品質な壱岐ならではの作物を生産

農業が盛んな壱岐市で、米、大麦、ジャガイモなどを生産している農事組合法人平人営農組合。代表理事の辻川秀樹さんは、ロボットやドローンなどの先端技術を活用するスマート農業を積極的に推進し、農作業の負担を軽減するとともに、質の高い作物の生産に取り組んでいます。

平人営農組合は平人地区の農家が共同で農業を営むために2015年に結成し、現在は18人の組合員で構成しています。10町(約10万平方メートル)の農地で、壱岐名産の麦焼酎に使われる大麦の種子や、水稻種子のほか、3年ほど前からは壱岐市でブランド化を進めているジャガイモ「壱岐黄金」を生産しています。

壱岐黄金は中身が濃い黄色で、栗のような濃厚な甘みとホクホクの食感が特長です。組合では地域に貢献したいという思いから市のまちづくり協議会と協力して「収穫祭」を開いています。今年は近隣の小学生や保護者を招き、ジャガイモを袋いっぱい詰めて親子でにぎわいました。

組合には私を含め普段は会社員として働いている組合員もあり、平日に作業できるのは2~3人ほどに限られます。少人数でも皆の農地を維持していくためスマート技術の導入に力を入れてきました。現在は全地球測位

システム(GPS)で自動運転が可能なトラクターや無線操縦で動く草刈り機を導入。ドローンによる農薬散布や種まきも行い、作業負担は大きく軽減されたと実感しています。

こうした取り組みが評価され、昨年度は「ながさき農林業大賞」で長崎県知事賞に選ばれました。作物の品質はもちろん、組合員が団結して良い物を作っていくという姿勢も評価されたとうれしく思っています。

代表理事になって3年目。皆で同じ目的を持ち協力して農業に取り組む中で、前年より作物の収量が上がればうれしいし、次の年のモチベーションにつながります。スマート技術の導入で組合員がさらに農業に取り組みやすい環境を整えながら、今後も県民や全国の方により良い作物を届けると同時に、地域貢献にも力を入れたいと思っています。

※地域の特性を生かした先進的な取り組みで成果を上げる農林業者などを表彰



トラクターを囲む組合員の皆さん



農薬散布や種まきに使われるドローン

ながさき レシピ

長崎県の
おいしい食材を
使ったヘルシーな
料理を紹介します

※写真は1人分



長崎市特産のケンサキイカを使った彩り鮮やかなメニュー

イカと野菜のバジル炒め

今月の食材

ケンサキイカ

加熱しても身が硬くなりにくいので、焼き物や煮物に向いているといわれています。豊富なタウリンを有し、血中のコレステロール値を下げ、生活習慣病を予防する効果があるとされています。



作ってくれたのは
料理人
さかもと よういち
坂本 洋一さん

料理コンテスト上位入賞のほか、長崎マイスターや優れた技能者長崎県知事表彰など受賞歴多数。テレビ番組や料理教室、学校の授業などで食の大切さや料理の楽しさを伝えているほか、子ども食堂など地域活動にも取り組む。

材料

2人分

- ◎ケンサキイカ 1杯 ◎ナス 1/3本 ◎トマト 1/2個
- ◎オリーブオイル 大さじ2 ◎ニンニク 1/2片 ◎鷹の爪 1/2本
- ◎バジル 7~10枚 ◎タイム 1枝 ◎塩コショウ 少々
- ◎レモン汁 小さじ1

作り方

- ①イカはワタを取り、胴は輪切り、ゲソはぶつ切りにする。
- ②ナス、トマトを乱切りにし、ナスはあく抜きをする。
- ③鍋にオリーブオイル、みじん切りにしたニンニク、種を取って輪切りにした鷹の爪を入れ、弱火にかけ、香りをつける。
- ④③に荒切りにしたバジル半量、タイムをそのまま入れ、②のナス、①のイカを炒める。最後に②のトマトを入れ、塩コショウで味を調えレモン汁を加える。
- ⑤④に荒切りにした残りのバジルを混ぜて完成。

ポイント | ケンサキイカ以外のイカでもおいしく作れます。

県政 トピックス

日本遺産「国境の島」 認定10周年！

今年、「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」が日本遺産に認定されてから10周年を迎えました。古代から現在まで、大陸との交流を持つ本県の「国境の島」。魏志倭人伝に記された弥生時代の一支国の王都であった「原の辻遺跡(壱岐)」、大陸からの侵攻を防ぐための古代の山城「金田城跡(対馬)」、遣唐使船の日本最後の寄港地であった五島列島の「三井楽」や「最澄ゆかりの地」など、それぞれの島に交流の歴史と文化が残っています。特産品の五島うどんや対州そば、壱岐焼酎のほか、民俗行事にも交流の歴史が感じられ、雄大な自然と美しい海があることも「国境の島」の大きな魅力です。

10周年を記念して、壱岐・対馬・五島列島では、構成文化財を巡るデジタルクイズラリーを開催するほか、9月以降に各地で講演会やパネル展示も実施予定です。この機会に「国境の島」を訪れ、特色溢れる歴史と文化、そして、その恵みを体感してみてください。ウェブサイトやInstagramでは、日本遺産の構成文化財や地域のグルメ、観光スポットなどを紹介しています。ぜひご覧ください。

問合せ 県の文化振興・世界遺産課 ☎095-895-2762 [日本遺産国境の島](#)



ウェブサイト



Instagram

全国初！ 「長崎県造船振興連絡会議」を設立！

デジタル化・脱炭素化に向けた動きの加速により、さまざまな産業が急成長を遂げており、本県では、こうした産業を取り巻く環境の変化を捉え、造船産業、半導体産業、航空機産業、洋上風力関連産業、水素関連産業などの成長産業の育成に取り組んでいます。

本県の造船産業においては、世界的なカーボンニュートラルの動きを捉えた環境対応船の建造や艦艇の新造・修繕の需要が高まるなど、さらなる成長が見込まれており、こうした造船産業の需要の拡大に伴い、人材確保・育成が強く求められています。

そのような中、県では、6月2日に県内の造船企業、大学、工業高校、国、関係市と共に「長崎県造船振興連絡会議」を設立しました。県下全域を対象とする造船産業の会議の設立は全国初で、産・学・官一体となって、造船産業の魅力発信や人材確保に関する取り組みを強化していきます。

今後は、本県造船産業の魅力を発信するため、県内造船企業や学校と連携し、造船所見学会や体験学習の実施などを検討していきます。ウェブサイトでは、会議の様子や魅力発信の取り組みを紹介しています。ぜひご覧ください。

問合せ 県の企業振興課 ☎095-895-2634 [造船産業の振興](#)



長崎県造船振興連絡会議の様子



小学生を対象にした造船所見学会

すくすく いきいき

福祉・医療・子育ての情報発信

もしかして、認知症？ 9月は「認知症月間」です！

認知症とは、脳の病気やけがなど、さまざまな要因によって記憶力や判断力が低下し、社会生活に支障を来した状態をいいます。

「加齢によるもの忘れ」と認知症による「記憶力の低下」は異なります。

認知症に対する理解を深めて、早期発見に努めましょう！

「加齢によるもの忘れ」と「認知症の記憶障害」の違いの例

加齢によるもの忘れ	認知症の記憶障害
経験したことを部分的に思い出せない	経験したこと全体を忘れている
目の前の人の名前を思い出せない	目の前の人や誰なのか分からない
何を食べたか思い出せない	食べたこと自体を忘れている
約束をすっかり忘れてしまった	約束したこと自体を忘れている
物覚えが悪くなったように感じる	数分前の記憶が残らない

出典：全国キャラバン・メイト連絡協議会認知症サポーター養成講座標準教材

いくつか思い当たることがあれば、
専門家に相談してみましょう。

認知症に関する相談窓口



市町の
地域包括支援
センター



県の若年性
認知症サポート
センター

問合せ 県の長寿社会課 ☎095-895-2434 [長崎県 認知症](#)

「長崎県福祉のまちづくり表彰」候補者募集

高齢者や障害のある方をはじめ、全ての人が自らの意思で自由に活動し、あらゆる分野の活動に参加できる福祉のまちづくりに寄与する取り組みや活動を表彰します。

対象 県内に在住または事業所(拠点)を有する個人や団体および企業など

申込方法 申込書に必要事項を記入し、メール、郵送または持参

※申込書は県庁で配布しているほか、ウェブサイトからもダウンロードできます

申込 9月26日(金)まで

※過去の受賞内容については、下記二次元コードからご覧ください

問合せ 県の福祉保健課 ☎095-895-2416

長崎県福祉のまちづくり表彰

ながさき「しま」のビジネスチャレンジ2025 参加者募集

県内の離島地域の活性化や地域課題解決につながる新たなビジネスチャレンジを促進するため、ビジネスアイデアを募るコンテストの参加者を募集しています。各部門の最優秀賞には賞金10万円の副賞が贈られます。

対象 【一般部門】個人またはグループ、法人
【学生部門】25歳以下の学生(個人またはグループ)

申込 10月3日(金)まで
※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください

問合せ 県の地域づくり推進課 ☎095-895-2247

しまのビジネスチャレンジ2025

長崎県正社員チャレンジプログラム合同企業面談会

無料

県内の半導体およびIT関連企業への正社員就職を目指す方を対象に、合同企業面談会を開催します。

とき 9月20日(土)、11月15日(土)
※時間はいずれも13時~16時

ところ 出島メッセ長崎(長崎市尾上町)

※当日参加もできますが、事前申し込みを推奨しています

問合せ (株)アソウ・ヒューマニーセンター 長崎支店 ☎095-826-9800

長崎県正社員チャレンジプログラム

募集

県立高等技術専門学校 令和8年度入校生募集

就職に役立つ知識や資格を身に付け、長崎県を支える技術者を目指しませんか。

◎推薦選考試験

対象 来春高校を卒業見込みの方
試験日 10月1日(水)
申込 9月8日(月)~22日(月)

◎一般選考試験

対象 平成20年4月1日以前に生まれた方など
試験日 10月29日(水)
申込 10月7日(火)~21日(火)

※詳しくは、ウェブサイトをご覧ください

問合せ ☎095-887-5671

長崎高等技術専門学校

☎0956-62-3799

佐世保高等技術専門学校

2025まちづくり総合住宅フェア

無料

子どもから大人まで楽しめる住宅フェアを開催します。ガーデニングや椅子作りなどが体験できるほか、建築、土地、造園、電気、ガスなどの専門家が住宅に関する相談を受け付けます。



とき 10月4日(土)、5日(日)
いずれも10時~15時

ところ 県庁(長崎市尾上町)

問合せ 県の住宅課 ☎095-894-3104

長崎県住宅課

ふくしの仕事就職フェア

無料

高齢・障害・児童分野の事業所との合同面談会を開催します。資格や経験の有無に関わらず、福祉・介護の仕事に関心のある方はぜひご参加ください。



①長崎会場
とき 10月12日(日)
13時~16時

ところ 出島メッセ長崎(長崎市尾上町)

※当日参加もできますが、事前申し込みを推奨しています

②オンライン面談会(予約制)

とき 10月22日(水)~25日(土)
10時~17時

問合せ 長崎県社会福祉協議会 ☎095-846-8656

welなが

ながさき動物愛護フェスタ

入場無料

9月20日~26日は「動物愛護週間」です。保護犬・保護猫の譲渡会や動物とのふれあい体験などを開催します。



とき 9月23日(火・祝)
ところ 県庁(長崎市尾上町)

※その他、県内各地で開催します。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください

問合せ 県の生活衛生課 ☎095-895-2364

長崎県生活衛生課

西九州新幹線開業3周年記念イベント

9月に開業3周年を迎える西九州新幹線と各地域の魅力を発信するステージイベントや特産品の販売などを実施します。スペシャルゲストには、はなわさん、タナカハルナさんが登場します!



とき 9月6日(土)
ところ やきもの公園(波佐見町井石郷)

問合せ 県の新幹線対策課 ☎095-895-2066

長崎県 新幹線

長崎県バス・タクシー・トラック合同企業説明会

無料・申込不要

県内のバス・タクシー・トラック事業者による合同企業説明会を開催します。

とき 10月5日(日)
11時30分~15時

ところ 諫早文化会館(諫早市宇都町)

対象 運輸業界の仕事(運転士など)に興味のある方
※高校生も参加できます

問合せ 県の交通政策課 ☎095-895-2065

長崎県 バス・タクシー・トラック合同企業説明会

第70回記念 中学生以下無料 長崎県美術展覧会

県内最大の公募展「県展」を開催します。今回は、子ども県展の特別賞受賞作品も展示します。

とき	ところ
9月28日(日)~10月12日(日)	長崎県美術館(長崎市出島町)
10月16日(木)~26日(日) ※21日(火)は休館日	佐世保市博物館 島瀬美術センター(佐世保市島瀬町)
10月30日(木)~11月9日(日) ※11月4日(火)は休館日	諫早市美術・歴史館(諫早市東小路町)

◎移動展 無料

とき	ところ
11月22日(土)~24日(月・祝)	壱岐の島ホール(壱岐市郷ノ浦町)
11月28日(金)~30日(日)	東彼杵町総合会館(東彼杵町彼杵宿郷)

問合せ 県展事務局(長崎県美術館内) ☎095-825-6058

長崎県展

情報ひろば

暮らしに役立つ情報をお伝えします

催しもの

里親出前講座 無料・申込不要

里親になりたい方や興味がある方を対象に、県内各地で出前講座を開催しています。

とき	ところ
9月2日(火) 14時~15時	波佐見町役場(波佐見町宿郷)
9月16日(火) 14時~15時	時津町役場(時津町浦郷)
10月2日(木) 14時~15時	諫早図書館(諫早市東小路町)
10月16日(木) 14時~15時	長与公民館(長与町嬉里郷)

問合せ 長崎県里親育成センター すくすく ☎0957-53-7343

長崎県 里親出前講座

第52回長崎県新人演奏会

本県クラシック音楽家の登竜門となっている演奏会です。厳しいオーディションで選ばれた演奏家がグランプリを目指して演奏します。ぜひご鑑賞ください。

とき 10月5日(日)14時開演
ところ シーハットおおむら(大村市幸町)

入場料 1,000円(高校生以下無料) ※未就学児入場不可

問合せ 長崎県文化団体協議会 ☎095-822-6049

長崎県新人演奏会

読者プレゼント

鬼風コップ&ステッカー(3枚)セット

地域特集で取材した鬼風工房平尾のオリジナル鬼風グッズをお届けします。「家内安全、無病息災」の魔よけとして飾られる鬼風を、日常に取り入れてみませんか?



30名様

問合せ 鬼風工房 平尾(老岐市芦辺町)
☎090-4489-4828

応募方法

①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
⑥電話番号 ⑦右記県民アンケートへの回答を必ずご記入の上、次のあて先までご応募ください。
※個人情報商品の発送のみに使用します

●ハガキ 〒850-8570 (住所不要)
長崎県広報課「つたえる県ながさき」係

●県のウェブサイトから

●締切 令和7年9月末日(消印有効)

なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※8月号のクイズの答えは「みんな」でした



応募はこちら

スタンプラリー 「ながさき照らす旅2」開催中!

「ながさき未来応援ポケモン」のデンリュウが描かれた『ポケふた』や県内各地の観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを開催しています。
一定数のスタンプを集めた方には、デンリュウとコラボした県産品やグッズなどを抽選でプレゼント!ぜひご参加ください!

期間:令和8年2月28日(土)まで



問合せ 県の観光振興課 ☎095-895-2645



編集後記

キャッシュレス化や公共交通機関の運行状況の配信、リモート会議の普及などデジタル技術によって便利になっているなど感じています。県内ではドローンの活用などさまざまな取り組みが進められているので、私たちの暮らしがより便利になる未来が楽しみです。

県民アンケート

県の重要な施策や取り組みを分かりやすく説明する「県政特集」ページを設けています。皆様のご意見をお聞かせください。抽選でプレゼントを差し上げます。

- 問1 内容は分かりやすいですか?
①分かりやすい ②まあまあ分かりやすい
③少し分かりにくい ④分かりにくい
- 問2 生成AI*を使ったことがありますか?
①使ったことがある
②存在は知っているが使ったことがない
③存在を知らない
*コンピューターが学習することで、絵や写真、文章などさまざまな新しいものを作り出す技術

問3 その他、取り上げてほしいテーマや感想を記入してください。

回答:【問1】から【問2】は番号を、【問3】は具体的に記入してください。

クイズ 「○」に入る文字(カタカナ)は?

県は「○○○○技術」で暮らしをより便利にすることを目指しています

ご意見・ご提案

県では、県民の皆さんからの県政に対するご意見・ご提案を募集しています。

問合せ 県の県民センター ☎095-894-3441

性暴力被害者支援「サポートながさき」**無料**

性暴力の被害に遭われた方が必要な支援を受けることができるよう専用の窓口を設けています。

相談時間/月～金曜 9時～17時

※土日、祝日、年末年始、夜間はコールセンターが対応します

支援内容/電話やメール、面接での相談、医療機関などの紹介や付き添いなど

問合せ (公社)長崎犯罪被害者支援センター内「サポートながさき」
☎#8891 または ☎095-895-8856



交通事故相談 **無料**

損害賠償や示談の進め方など、交通事故でお困りの方からの相談を受け付けています。

①電話・来所相談

相談窓口/交通事故相談所
県庁(長崎市尾上町)内
相談時間/月～金曜 9時～16時
※12時～13時、祝日、年末年始を除く

②巡回相談

県内各地での巡回相談も毎月開催しています。

とき	ところ
9月11日(木)	県北振興局(佐世保市木場田町)
9月16日(火)	高城会館(諫早市高城町)

※時間はいずれも10時～15時
※来所相談、巡回相談は相談日の2日前(土日・祝日を除く)までに電話予約してください

問合せ 県の交通事故相談所
☎095-895-2342

オンライン動画配信型学習サービス **無料**

県内企業への就職・転職を目指してスキルアップしたい方を対象に、自分の好きな時間に何度でも受講できる3万種類以上の講座を提供しています。

講座例/ChatGPT、RPA、データ活用、IT活用、ビジネススキルなど

受講期間/3カ月間

定員/200名 ※先着順

要件/県が運営する「エヌナビキャリア」への登録
※登録無料

問合せ 県の未来人材課
☎095-895-2732



秋の全国交通安全運動

～見えない見えるに変える 反射材～

一人一人が交通ルールを守り、交通マナーを高めて交通事故に遭わないよう、起こさないよう注意しましょう。



期間/9月21日(日)～30日(火)

◎重点

- 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

問合せ 県の交通・地域安全課
☎095-895-2341

お知らせ

「高次脳機能障害」に関する相談を受け付けています

無料

事故による頭部外傷や脳卒中などの後遺症により、生活のしづらさ(新しいことを覚えられない、仕事でミスが増えた、イライラしやすいなど)を感じている方やその家族からの相談を受け付けています。

相談時間/月～金曜 9時～17時45分
※祝日、年末年始を除く

問合せ 長崎県高次脳機能障害支援センター
☎095-844-5515



文化庁活動の指導者不足でお困りではありませんか?

県内の公立学校の文化庁や地域文化クラブの指導などにご協力いただける方を募集し、「文化庁活動指導者等人材リスト」を作成しています。指導者をお探しの際はお気軽にお問い合わせください。

子どもたちの文化活動を地域で応援しましょう。

◎指導者登録を希望される方は…

登録方法/電子申請システムで必要事項を入力

対象/18歳以上で、指導する活動の知識・技能または指導経験がある方

※過去の指導でハラスメントなどの不適切な行為があったと認められる場合は登録できません

問合せ 県の学芸文化課
☎095-894-3385

